

能代市都市計画マスタープラン（案）に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：平成22年1月21日（木）～平成22年2月3日（水）
- 2 募集方法：地元紙及び広報のしる、ホームページで期間を周知するとともに、ホームページからのダウンロードによる閲覧のほか、本庁都市整備課、二ツ井地域局建設課、各地域センター、出張所に閲覧資料を置き、意見を募集しました。
- 3 寄せられた意見：1通2件（電子メールによる提出）

番号	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>マネジメントの手法にPDC Aサイクルがあります。</p> <p>今回の本マスタープランをそれに沿って考え、Pを本計画、Aを5年後の見直しとしたとき、その間の各目標のD（具体的なことの実行）のタイムスケジュールや進行管理、それに対するC（点検・評価）の機関やその情報の公開はどうなるのでしょうか。</p>	<p>本マスタープランは、市の総合計画及び国土利用計画を上位計画として策定しております。</p> <p>本マスタープランを推進するための各種施策については、基礎資料編のIVその他資料に記載しておりますが、これらの事業は、同時に総合計画にも位置付けられております。</p> <p>総合計画においては、3年を1サイクルとして実施計画を策定し、各種事業の進行管理を行うとともに、市民による総合計画市民協働会議を設置し、総合計画の進捗状況の点検・評価を行い、その結果を新聞報道やホームページへの掲載により公開しております。</p> <p>こうしたことから、本マスタープランの進捗については、総合計画の進行管理（D）や点検・評価（C）の中で、行うこととなります。</p>
2	<p>「能代農業振興地域整備計画書（案）」を見ますと、1ページの（将来の他用途土地利用の方向）欄に、「能代市国土利用計画」より、平成26年、平成31年とそれぞれ具体的な推計人口が記載されていてより説得性や危機感を感じます。</p> <p>また、本プランにおける各拠点ごとの構想の製作や実行にもそれぞれの推計人口が重要な要素となっている、あるいはなってくると考えますが表記が無いようです。</p> <p>先の理由（説得性や危機感）から各拠点ごとの推計人口を表記したほうが良いと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>また、表記していない理由をお聞かせください。</p>	<p>本市の総合計画や国土利用計画、農業振興地域整備計画などは、10年間の計画期間について定めることとされていることから、総合計画策定時の人口推計を掲載しております。</p> <p>しかしながら、都市計画マスタープランについては、概ね20年後のまちを想定して計画を策定することとされており、他の計画と比較して計画期間が長いいため、正確な推計が難しい面があります。</p> <p>また、本市においては、今後、人口が減少していくであろうということは、既に市民の共通認識となっていると考えております。</p> <p>人口推計を掲げて市民の危機感に訴えてまちづくりを進める手法も一つではありますが、本マスタープランでは、今、各地域にある資源や長所を再認識・活用しながら、市民、事業者、各種団体、行政などが協働して、持続可能なまちを目指すことを主眼としております。</p> <p>こうしたまちづくりは、20年後の人口推計によって変わるものではなく、また、各主体の前向きな取り組みが必要となることから、本マスタープランにおいては、20年後の人口推計を記載いたしませんでした。</p>